

エチオピア（2023 年度）

- [国・地域別情報トップページへ](#)
- [各国・地域情勢](#)
- [在エチオピア日本国大使館](#)

1. 2021 年度日本語教育機関調査結果
2. 日本語教育の実施状況
3. 教育制度と外国語教育
4. 学習環境
5. 教師
6. 教師会
7. 日本語教師派遣情報
8. 評価・試験
9. 日本語教育略史

1.2021 年度日本語教育機関調査結果

なし

2.日本語教育の実施状況

全体的状況

沿革

エチオピアにおける日本語教育の歴史は極めて浅く、2008 年 10 月メケレ大学で開設された日本語講座が最初である。当地で研究活動をしている日本人教授の個人的な繋がりにより講座が開講された。開講された当初は修了者 10 名程度の小さな講座であったが、その後受講者が増え、2010 年 10 月以降は、毎年 150 人程度の修了者を出していた。2012 年 9 月からはメケレ大学附属コミュニティースクール（初等教育）でも日本語講座が開講された。2011 年 1 月以降、毎年、ジャパン・カルチャー・デーというイベントをメケレ大学及びメケレ大学附属コミュニティースクールで開き、弁論大会を大学内で開催していた。

2018 年 10 月からアディスアベバ大学にて、日本語講座が開始され、2020 年まで日本人講師が日本語教育を担当し、首都でも日本語を勉強することができるようになった。

しかし、両講座ともコロナ禍及びティグライ紛争の影響により 2020 年以降完全中断（2024 年 2 月時点）。一方、アディスアベバ大学では、オンライン講座などを利用して一部日本語講座の実績がある。他方、メケレ大学及びアディスアベバ大学は、日本語講座の再開に向け、調整を行っている（2024 年 2 月時点）。

背景

日本語教育の歴史は始まったばかりであるが、「工業国日本」のイメージは浸透しており、日本への興味、関心は年々高まってきている。最近では、YouTube などでアニメに関心を持ち、アニメがきっかけで日本語教育を始

めた人もいる。

特徴

第一外国語は英語であり、第二外国語を履修するケースはそれ程多くない。また、多民族国家であるゆえ、民族言語を複数学習するケースなども見られる。

最新動向

2008 年 10 月から開始したメケレ大学での日本語講座、及び、2018 年 10 月から開始したアディスアベバ大学での日本語講座は、2020 年以降両講座ともコロナ禍及びティグライ紛争の影響により完全中断（2022 年 12 月時点）。一方、アディスアベバ大学では、オンライン講座などを利用して一部日本語講座の実績がある。他方、メケレ大学及びアディスアベバ大学は、日本語講座の再開に向け、調整を行っている（2024 年 2 月時点）。

教育段階別の状況

初等教育

2012 年 9 月、メケレ大学附属コミュニティースクール（初等教育）に日本語講座が開講。2013 年度は 5 年生から 8 年生までが対象。日本語講座は必須授業の扱いであるが、進級には関係しない位置づけとなっていた。開講の目的は、生徒たちの多文化経験の促進と、日本との草の根文化交流の推進であり、学校側としては日本の学校との将来的な教員・生徒双方のレベルでの交流も望んでいる。ただし、2020 年以降ティグライ紛争の影響により、完全中断（2024 年 2 月時点）。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

高等教育

2020 年までメケレ大学日本語講座が開講されていた。1 学期 30 時間で 1 レベルを修了し、大多数は 1～2 学期のみの受講だった。学習者の多くは、日本文化、または外国語学習自体に興味を持っていた。ただし、2020 年以降ティグライ紛争の影響により、完全中断（2024 年 2 月時点）。

学校教育以外

アディスアベバ大学で日本語講座が行われており、対象は同大学の生徒に限らず、18 歳以上のエチオピア人を広く受け入れており、初級、中級、上級の 3 つのコースで日本語を教えていた。ただし、2020 年以降コロナ禍及びティグライ紛争の影響により、完全中断（2024 年 2 月時点）。オンライン講座のみ一部実績あり。

3.教育制度と外国語教育

教育制度

教育制度

初等教育が 8 年間（グレード 1～8、7～14 歳）、中等教育が 2 年間（グレード 9～10、15～16 歳）、高等教育はグレード 10 修了後、共通試験の結果によって、大学、カレッジ、テクニカルスクールへの進学が決定される。大学に進学をする者は、更に 2 年間の進学準備校に通わなければならない。中等教育以降は英語で講義される。

教育行政

大学は教育省の管轄にあるが、初等・中等（グレード 1～10）、カレッジ、テクニカルスクールは各州教育局（Education Bureau）が管轄する。

言語事情

オロモ族 36%、アムハラ族 24%、ティグライ族 6%、ソマリ族 6%、その他約 80 の少数民族により構成される。国の公用語はアムハラ語であるが、各州ではそれぞれの言語（ティグライ語、オロモ語など）が公用語として用いられる。学校教育においても、首都アディスアベバ及びアムハラ州ではアムハラ語、オロモ州ではオロモ語と各州の公用語が使用される。ただし中等教育以降は全国共通で英語が用いられる。

外国語教育

初等教育より第一外国語として英語を履修。ただし、開始学年は地域、州によって若干異なる。多言語社会のため、共通語であるアムハラ語以外を母国語とする地域では、初等教育より英語に加えてアムハラ語も履修。10 年生以上はすべての授業が英語で行われる。

外国語の中での日本語の人気

エチオピアではメケレ大学及びアディスアベバ大学でのみ日本語講座が開講されていた。メケレ大学では日本語講座の他、中国語講座及びドイツ語講座が課外講座として同様に開講されていたが、その中でも日本語講座の受講生は多く、安定した人気を保っていた。ただし 2020 年以降ティグライ紛争の影響により、日本語講座は完全中断（2024 年 2 月時点）。

大学入試での日本語の扱い

大学入試で日本語は扱われていない。

4. 学習環境

教材

初等教育

自作教材

中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

高等教育

『みんなの日本語 初級Ⅰ』スリーエーネットワーク（スリーエーネットワーク）を基にした自作教材
『みんなの日本語 初級Ⅰ、Ⅱ 聴解タスク 25』牧野昭子ほか（スリーエーネットワーク）
『みんなの日本語 初級Ⅰ、Ⅱ 初級で読めるトピック 25』牧野昭子ほか（スリーエーネットワーク）
『DVD で学ぶ日本語 エリンが挑戦！にほんごできます。Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ』国際交流基金（凡人社）
『KANJI LOOK AND LEARN』坂野永理ほか（The Japan Times）

学校教育以外

自作教材、みんなの日本語

IT・視聴覚機材

日本語教育に IT・視聴覚機材は使用されていない。

5.教師

資格要件

初等教育

日本語教育が小学 5 年生以上で実施されていたが、現地語（ティグライ語）運用能力が求められているため、日本人の専任講師は募集していない。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

高等教育

- 日本語学科 学士以上
- 日本語教師経験 2 年以上
- TOEIC 500 点以上

（絵による指導が非常に理解されにくい文化のため、必要に応じて英語や現地語も活用してコミュニケーションする意欲があること）

学校教育以外

日本語堪能者

日本語教師養成機関（プログラム）

特に行っていない。

日本語のネイティブ教師（日本人教師）の雇用状況とその役割

・2020 年まで実施されていたメケレ大学日本語講座では、メケレ在住の日本人 1 人が日本語教育の専門家ではないが、日本語教師として常勤して、全授業を受け持っていた。メケレ大学附属コミュニティースクールでは、日本人教師の監修の元、2 人のエチオピア人講師が全授業を担当していたが、2020 年以降ティグライ紛争の影響で完全中断（2024 年 2 月時点）。

・アディスアベバ大学では、2020 年まで、日本語のネイティブ教師 1 名と 2 名のエチオピア人日本語教師で日本語を教えており、エチオピア人は、元国費留学生と日本語長期研修者で高い日本語力を備えていたが、2020 年以降ティグライ紛争の影響で完全中断（2024 年 2 月時点）。

教師研修

現職の日本語教師対象の研修はない。

6.教師会

日本語教育関係のネットワークの状況

2019 年日本語教師会が立ち上がり、活動開始。2019 年には、第一回アフリカ日本語教育会議がエチオピアの首都アディスアベバで開催された。

7.日本語教師派遣情報

国際交流基金（JF）からの派遣

国際協力機構（JICA）からの派遣

JF、JICA からの派遣は行われていない。

その他からの派遣

（情報なし）

8.評価・試験

2020 年の日本語講座の中断以前は、小テスト、宿題、最終テスト、プレゼンテーションの試験があり、右テストの結果を踏まえて評価を行っていた。

9.日本語教育略史

2008 年 10 月

メケレ大学に日本語講座開設

2011 年 1 月

メケレ大学及びメケレ大学附属コミュニティ第 1 回ジャパン・カ

	ルチャー・デー開催（以後毎年開催）
2011 年 11 月	平成 22 年度草の根文化無償資金協力により、メケレ大学日本語講座に専用の LL 機材を供与
2012 年 3 月	メケレ大学にて第 1 回日本語弁論大会開催（以後毎年開催）
2012 年 9 月	メケレ大学附属コミュニティースクール（初等教育）に日本語講座開講
2018 年 10 月	アデイスアベバ大学日本語講座の開講
2019 年 11 月	日本語教師会の発足
2019 年 9 月	第 1 回アフリカ日本語教育会議
2020 年～	コロナ禍及びティグライ紛争の影響で日本語講座は完全中断（2024 年 2 月時点）